

食べたタバコの量が少ないと 胃洗浄は不要です!!



あ!大変、
子どもが
タバコを口
に入れている

さあ、どうしましょう?

子どもが誤ってタバコを口に入れたときの対応策をお知らせします。

日本は世界でも子どもの誤飲（誤って口に入れて飲み込むこと）が多い国です。ボタン電池、おじいちゃんの薬、防虫剤、プラスチックのおはじきなど、10ヶ月から2歳までの子どもは何でも口に入れます。中でもタバコは、日本の乳幼児が誤飲する一番多い物質です。タバコには、キクやバラにつくアブラ虫退治に使われるニコチンが含まれています。タバコを口にくわえた子どもを見ると、親は急いで診療所や救急医療機関に飛んできます。

さあ、どうしましょう!

まず、どのくらいの長さのタバコを食べたか調べてください。2cm以下ならば何もせずに様子を見てください（アメリカの規準はもっとゆるく、タバコ2本以下です）。2cm以上のときや食べた量が分からないときは、指を口に入れて吐かせてください。その後4時間様子を見てください。4時間のうちに、吐き気がなく、ウトウトしなければ大丈夫です。水やお茶、牛乳を飲ませると、タバコの葉から溶け出すニコチンが増えますので止めてください。

なぜ、以前のように胃洗浄をしなくていいのでしょうか?

タバコからニコチンが溶け出すまでに時間がかかります。しかも、溶け出したニコチンは胃の中では15分間で3%しか吸収されません。また、吸収されるとニコチンの催吐作用（おう吐をうながす作用）により10~60分以内に嘔気、嘔吐が出現し、吸収されずに残ったタバコが外に出てきます。

タバコを口に入れたのを見かけてから60分以上経って、変わりがなければ大丈夫です。

ただ、注意しないといけない場合があります。

缶コーヒーや缶ジュースの残りにタバコの吸い殻を入れ、その液（ニコチンの浸出液）を飲み込んだ場合です。この場合は胃洗浄をし、入院して経過を見ます。ニコチンの浸出液は吸収効率が高いからです。

葉タバコを食べても胃洗浄する必要がないことが分かってきましたが、体内に吸収されたニコチンの作用を抑制するいい薬はありません。時間とともにニコチンが体から出て行くのを待つだけです。

くれぐれも要らない物を口に入れないよう注意をお願いします。

（院長 庵原 俊昭）

医療福祉相談室だより

今月のイチオシ

医療福祉相談室には
小さな図書コーナーが
あります。

子どもの病気（難病・発達障害・こころの病気）に関するものから、介護する側・される側、子育てのヒントになる本、話題の本などおいています。ソーシャルワーカーが面接中の時はお部屋に入れません。それ以外はいつでもかまいませんので外来・入院を問わずふらりのぞいてください。

「せかいのこどもたちのはなし はがぬけたらどうするの?」

《セルビー・ビーラー 著 / フレーベル館》

乳歯が抜けたときのことって覚えてますか?私は、抜けた歯は、下の歯ならまっすぐのびるように屋根に向かって投げたり、上の歯は土に埋めたり、飲み込んだりしてました…。さて、実は世界中の国々で、歯が抜けた後どうするかがちがうそう。夜寝てる間に歯の妖精やネズミがお菓子やお金

と交換してくれる国から、丈夫な歯をもつ動物にあやかって食べてもらう国…いろいろな言い伝えや習慣があります。今度乳歯がぬけたら、他の国の習慣にならってみても楽しいかもしれませんね。

（ソーシャルワーカー 高村 純子）



今月の植物を探せ!

5月号の正解は「いちじく」リハビリ棟西側の建物とフェンスの間です。今月は都合によりお休みさせていただきます。次回をお楽しみに!